

## 旧城崎町

### ■被害状況

旧城崎町内では、10月19日午前6時頃より降り始めた雨が、時間雨量1mm～4mmで推移しながら22時頃に止んだ。しかし、20日7時から再び降り始め、13時からの時間雨量は13mm～31mmの豪雨となった。その後23時には止んだが、累計雨量は228mmとなった。

町内の円山川の水位は、17時には指定水位1mを上回る1m10cmとなり、21時には2m77cmをピークに以後遞減した。水位上昇により、県道豊岡港線は玄武洞付近で冠水し、10月20日16時50分に通行止めとなり、10月22日6時25分に解除されるまで交通が途絶した。

また、湯島地区では10月20日16時30分頃から一部浸水が発生したほか、内川地区でも谷水による浸水および円山川の氾濫により川沿いの地区が冠水した。



▲結和橋西詰め付近の冠水状況



▲来日付近の状況（国土交通省撮影）

台風23号は、昭和34年の伊勢湾台風を上回る水位となり、住家被害は全壊1棟、大規模半壊6棟、半壊139棟、床上浸水125棟、一部損壊21棟という甚大な数に上った。また、田畑、道路、公共施設などを含めた被害総額は1,757,207千円にのぼった。

## ■災害対策本部・広報活動

旧城崎町では、10月20日9時に災害警戒本部を設置した。また、11時10分に水防指令第1号が発令されたことを受け、水防計画に定める第1非常配備体制とし、内水排水ポンプの配備、公共事業現場の安全確認、台風情報の広報活動に万全を期した。さらに、15時に災害対策本部へ切替え、16時10分には水防指令第3号が発令されたことを受け、第3号非常配備体制とした。

10月21日には、減水とともに被害調査、防疫、応急復旧を開始するとともに、10月22日午後から災害ごみの回収を開始した。そして、応急復旧、災害ごみ収集等について一応の目処がついた11月2日17時を持って災害対策本部を解散した。

また、広報については、防災無線を使用し、避難勧告等を行った。

月 日	時 刻	放送の概要
10月20日	16:20	台風接近注意の広報
10月20日	17:55	円山川水位情報 今後大幅な上昇の見込み
10月20日	19:31	町内全域で冠水等の被害が発生、今後の河川水位上昇に注意を
10月20日	21:31	円山川水位情報 21時現在豊岡市立野の水位はピークと予想、今後の水位上昇に注意
10月20日	22:20	円山川水位情報 22時現在豊岡市立野の水位はピークを過ぎた。城崎地域も順次減水の見込み
10月21日	6:05	道路情報 豊岡、竹野、久美浜方面へは全面通行不可能
10月21日	6:05	幼稚園、小学校、中学校臨時休校
10月21日	9:53	道路情報 豊岡、竹野、久美浜方面へは全面通行止
10月21日	11:01	道路情報 神戸方面へは鑄物師戻峠～床瀬～神鍋～村岡～9号線のルート乗用車通行可能
10月21日	12:18	停電による水道の断水が発生、節水協力要請
10月21日	15:48	関西電力より停電復旧作業の報告
10月21日	18:13	JR運行情報 福知山～浜坂間は復旧までに3日程度

## ■避難活動

旧城崎町では、小学校・中学校・中央公民館・役場を避難場所に指定し、一の湯から下流域の湯島地区及び内島・旭地区の650世帯(1,678人)に対し、19時40分に避難勧告を発令した。

また、その他の地区に対しても町内会を中心に自主避難を呼びかけた。

## ■水防・消防・救助活動

消防団員115名、消防署員が延120名、役場職員が延898名、合計延1,133名が出動して水防活動を行った。

出動内容	人 員 等	出動箇所
総括指揮	消防本部 4名	全町
水防活動	第1分団やまと・ひたち班 20名	まんだら湯、喜多、長崎
水防活動	第2分団ゆしま・いずみ班 23名	喜多、長崎
水防活動	第3分団はやて・つばさ班 20名	大谷
警戒並びに巡回	第4分団飯谷・楽々浦・のぞみ班 25名	飯谷、楽々浦、戸島、結
警戒並びに巡回	第5分団くるひ・うやま班 23名	来日、上山、二見

旧城崎町域を管轄する北但消防本部城崎分署では、円山川沿いの住宅の浸水により、救助要請が相次いだほか、避難住民を避難所まで搬送する活動を行った。また、内水の増水による浸水被害に対して排水作業等を行った。特に、城崎町内を流れる大谿川では、排水機場の吸水口フェンスに流木等がつまり排水能力が低下、内水の増水による被害拡大のおそれがあるとして、隊員がフェンスにつまった流木等を手作業で撤去する活動を行った。一方、円山川河口付近の旧豊岡市港地区でも浸水被害が拡大し、城崎分署から同地区へ通じる主要道路が冠水により寸断された。

#### ■清掃・防疫活動

10月22日午後から、災害ごみの集積所を「城崎小学校」に指定し、減水の早かった湯島地区から災害ごみの収集を開始した。翌23日には、ごみの集積所を楽々浦「桜づつみ公園」に変更し、11月7日までごみの集積を行った。ごみの量は推定で1千トン以上に達し、処理経費に約6千万円を費やした。

また、衛生・防疫のための配布物に903,018円、し尿汲み取りに287,370円を費した。

#### ■災害ボランティアの受入れ

旧城崎町では、町外からのボランティアを受入れていないが、商工会青年部を中心とした町民によるボランティアが復旧活動に尽力した。

#### ■義援金

受け入れた義援金は、平成17年3月31日現在で261件7,784,548円に上った。